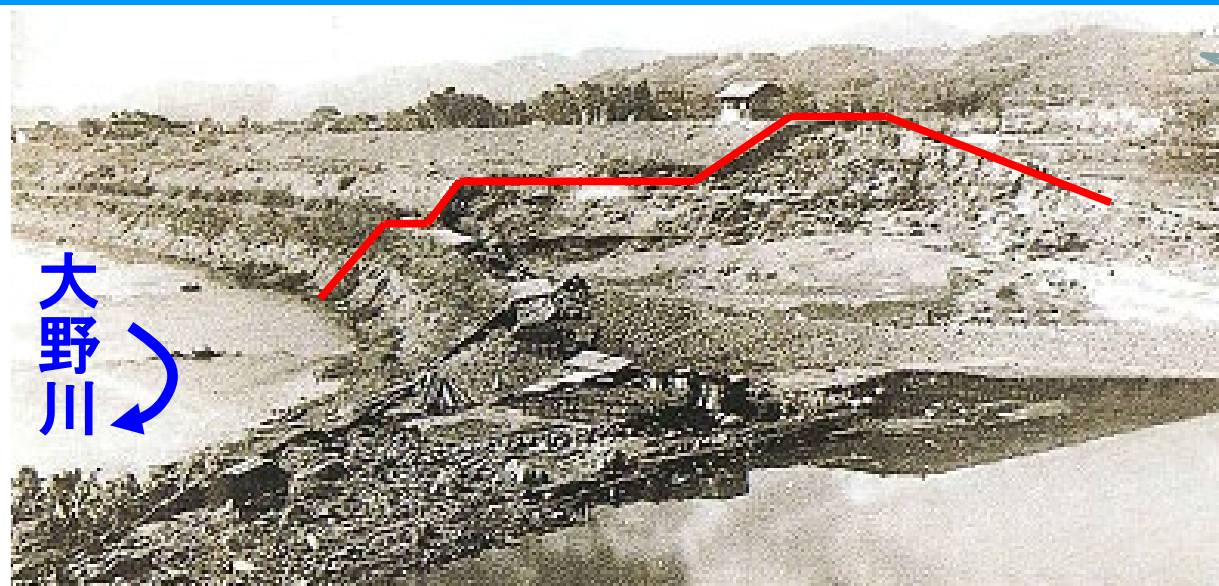
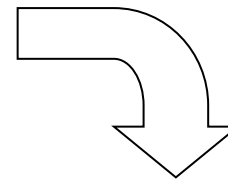


小学校5年生 自然災害を防ぐ
第5時 自然災害に備えるために
板書・スライド用教材

ていぼう

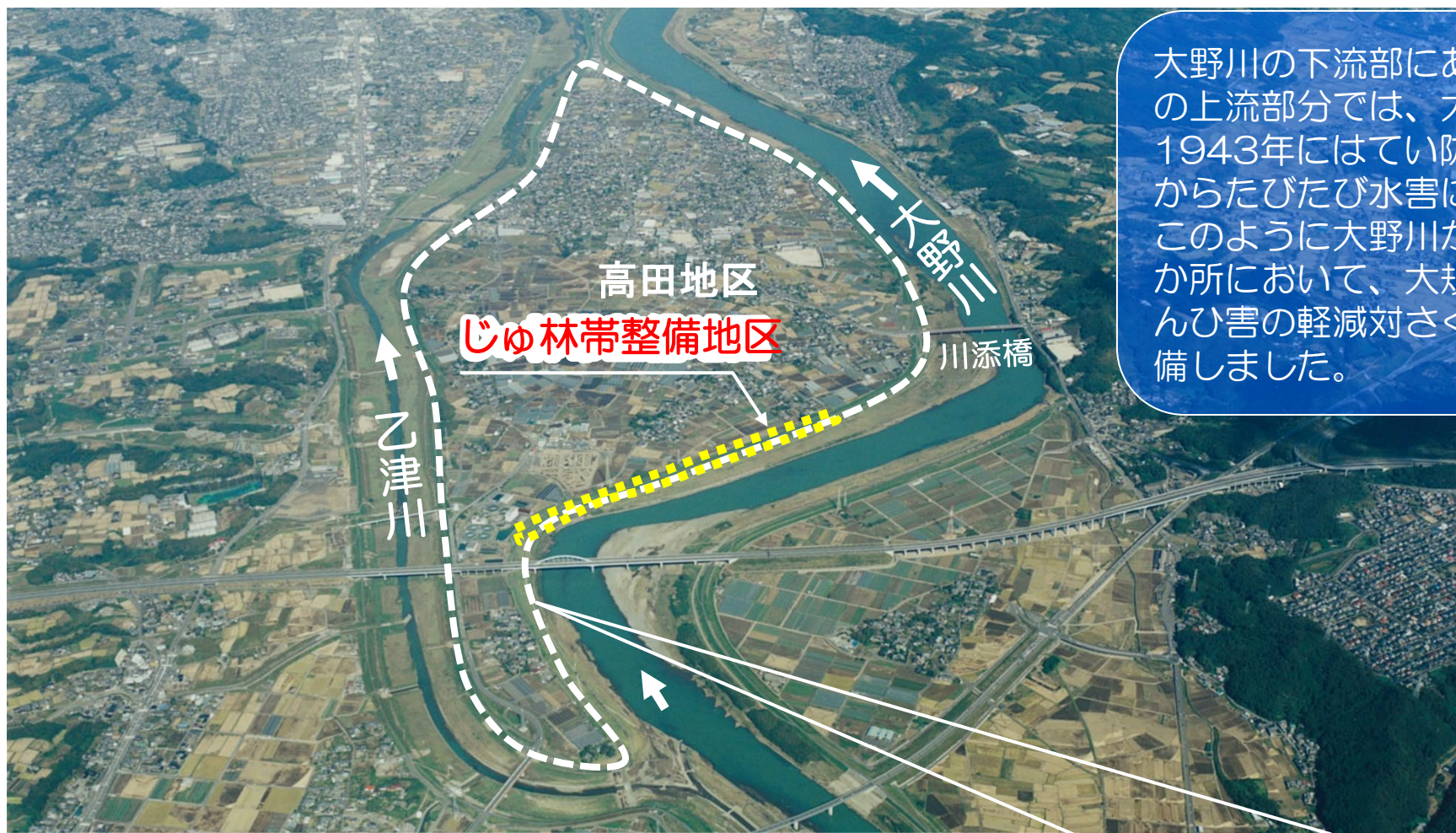


1943年(昭和18年)の
こう水のようにす

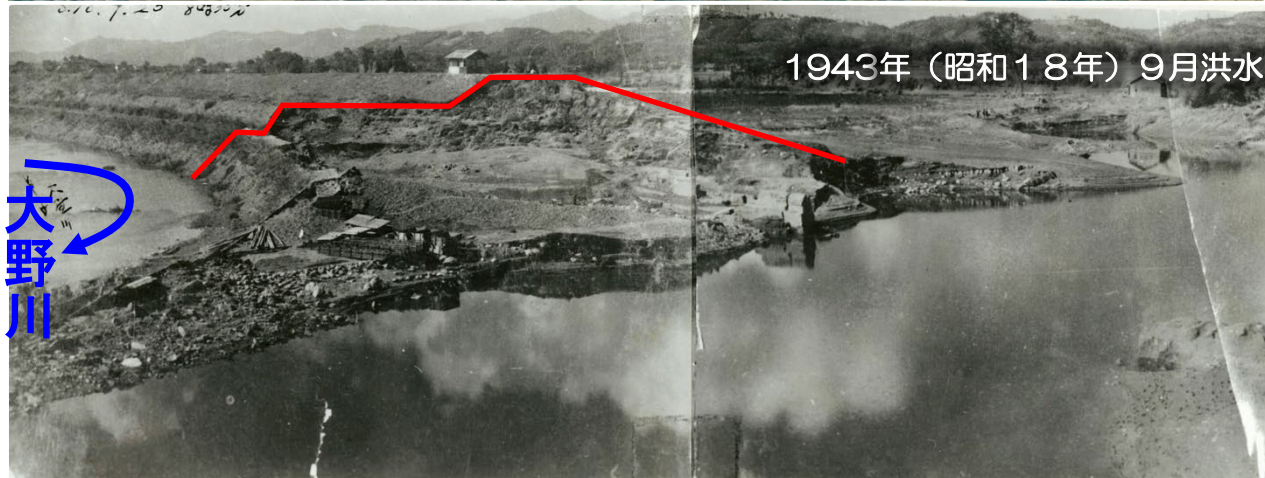


こう水後のていぼう整備（大野川）

じゅ林帯



大野川の下流部にある高田地区、この地区の上流部分では、大野川が90度に曲がり、1943年には堤防が決かいするなど、昔からたびたび水害に見まわっていました。このように大野川が90度に曲がっているか所において、大規模な水によるはんらん被害の軽減対策のため、じゅ林帯を整備しました。



しょう水路の整備前



曲がっている川にしょう水路をつくることで、
こう水の時の水の流れがスムーズになって川の
水位が下がり、あふれることを防ぎます

2014年撮影

ななせ

いち

ななせ

七瀬川市しょう水路の整備（大分川水系七瀬川）



太田名部防潮堤(岩手県普代村)

ふ代水門



普代水門(岩手県普代村)

国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所

ダム



ダムはこう水だけでなく、大量の流木や土しゃを貯めることができます。

2017年9月の台風第18号では寺内ダムに大量の流木や土しゃが流れこみました。

ダムがなければ下流の川へひょう流し、橋に引っかかることによって川がせき止められ、さらにひ害がかく大する可能性があったとすい定されます。

2017年7月6日
寺内ダム貯水池(福岡県朝倉市)